



結核は過去の病気ではありません！ ～結核を減らすために～

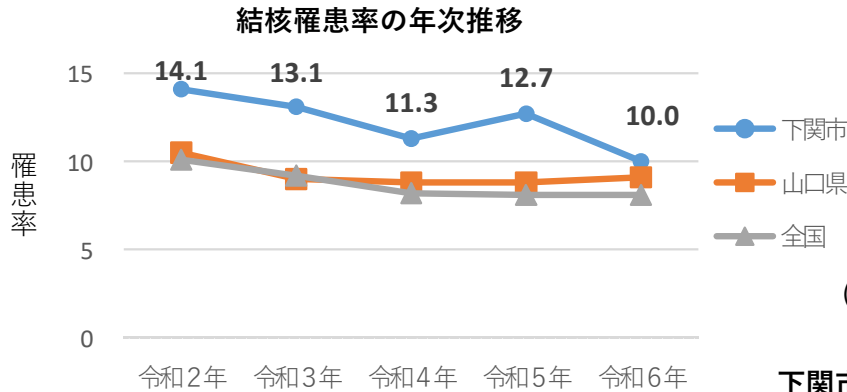


結核の現状

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。

結核は今でも新しい患者が発生している重大な感染症です。

山口県内では年間100人以上、下関市内では年間約20～30人前後の新規結核患者が発生しています。



下関市で新たに結核と診断された方の割合（罹患率）は全国や山口県と比較すると高い状況です。

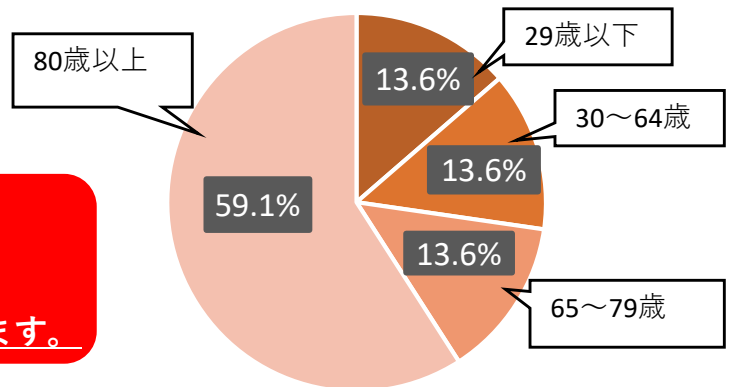
(罹患率 = 新登録結核患者数 ÷ 人口 × 10万)

～80歳以上に多い結核！～

下関市で令和7年に発生した結核患者は80歳以上の高齢者の割合が高く、患者の約6割を占めています。

結核の早期発見には定期的な胸部X線検査が重要です。
特に65歳以上の方は感染症法により、
年1回は胸部X線検査を受ける必要があります。

下関市で結核と診断された患者の 年齢別割合(令和7年)



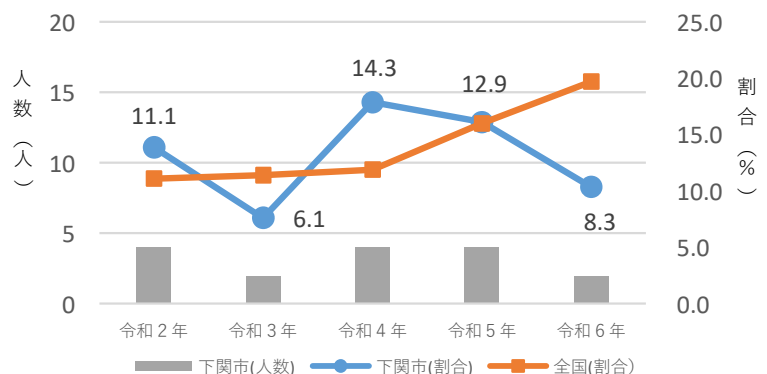
～外国出生者の結核～

新登録結核患者のうち外国出生者の割合は全国的に増加しており、下関市では毎年約1割ほどを占めています。

特に、20～30歳代の新登録結核患者のうち外国出生者の割合が高い状況です。

罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースがあります。

新登録結核患者に占める外国出生者の年次推移



結核は感染しただけでは、他の人にうつすことはありません。
病気が悪化すると「せき」や「たん」の中に結核菌が含まれるようになり、
人にうつす状態になります。**重症化を防ぐだけでなく、周囲への感染拡大を防ぐためにも早期発見・早期治療が大切です。**

早期発見のために大切なこと

☑症状がある場合の早期受診

☑年に1回、胸部X線検査の実施

《詳しい内容は裏面へ》

学校及び事業主等の皆様へお願いしたいこと



シールちゃん

～結核は早期発見が大切！！～

早い段階（人にうつす前）で結核が発見出来れば、人への感染を防ぐことが出来ます。

①有症状時の受診の勧奨をお願い致します。

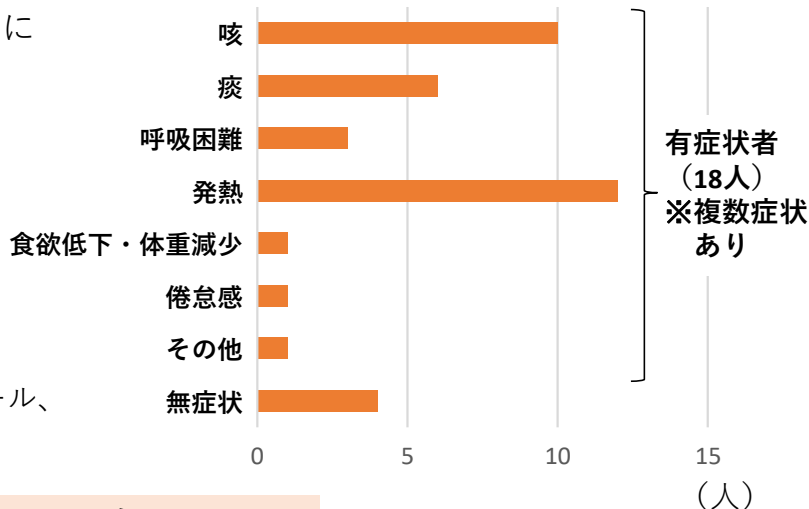
結核を発病すると、咳や痰、発熱など風邪によく似た症状が出ると言われていますが、下関市においても同様の傾向です。結核の高蔓延国※出生の方は、入国前に結核に感染している可能性もあります。

**学生、実習生や労働者等で、
咳や痰、微熱が2週間以上続くなど
体調が悪そうなときは、受診の勧奨を
お願い致します。**

※フィリピン、ベトナム、インドネシア、ネパール、中国、ミャンマー等

診断時の症状（令和7年）

N = 22

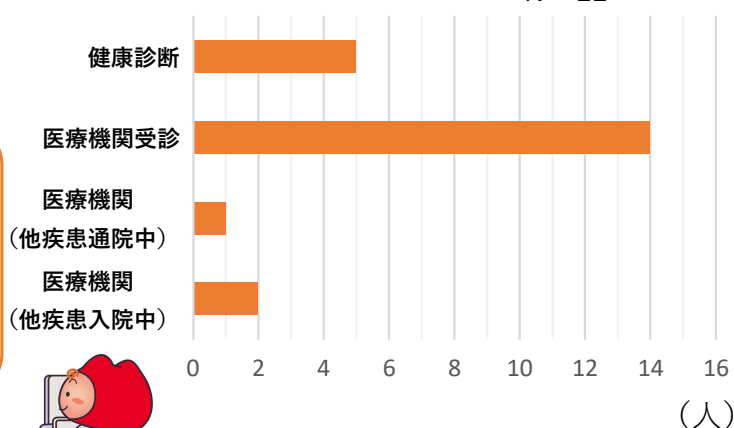


②健康診断（胸部X線検査）の受診をお願い致します。

令和7年の患者発見方法のうち、下関市では健康診断（胸部X線検査）が全体の約2割を占めています。

発見方法（令和7年）

N = 22



**症状がなくても、胸部X線検査で
結核が発見されることがあります。
結核の早期発見・感染拡大防止のために
定期的な胸部X線検査の受診が大切です。
年に1回は胸部X線検査を受けましょう。**



シールぼうや

③精密検査受診の勧奨をお願い致します。

健康診断で精密検査対象となった後に受診しておらず、結核の発見が遅れると、
集団感染に繋がる可能性があります。
精密検査の対象となった場合は速やかな受診をお願いします。

精密検査対象の学生、実習生や労働者等への対応に関するお願い

①健康診断の結果は速やかに学生、実習生や労働者等へご返却下さい。

外国生まれの方は、漢字で書かれた健診結果を読めないこともあり、精密検査の受診が遅れてしまう可能性があります。健診結果を分かりやすく伝えていただくと助かります。

②速やかな医療機関受診の勧奨をお願い致します。

医療機関の予約や受診が自身で難しい方には、サポートをしていただくと助かります。